

平成30年度 京都教育大学附属特別支援学校 研究発表会のご案内（第2次）

「社会で生きる力」の育成に向けたカリキュラム・マネジメントの実現 （第1年次）

京都教育大学附属特別支援学校は、京都市伏見区深草大亀谷の自然豊かな環境の中にあります。校舎は竹林や木々に囲まれ、起伏に富んだ地形が四季折々の表情を見せ、風情豊かな学校です。

今年度で創立49年を迎えたこの自然豊かな学習環境の中で、本校の教育目標「生活意欲に富む、個性豊かな社会人を育成する」を具現化するために、子どもと教師が生活者同士として互いにかかわり合いながら、一人一人の「よさ」を發揮できる学校生活作り、授業作りを行うことを目指しております。

今年度より研究テーマを、“「社会で生きる力」の育成に向けたカリキュラム・マネジメントの実現”として掲げ、3年計画で研究推進していくことといたしました。各授業実践やポスター発表を通じて、研究成果を報告いたします。又、講演には中村大介先生をお迎えして、新学習指導要領の現状や授業作りについてのご示唆をいただきます。是非、皆様のご参加をいただき、忌憚ないご意見を賜りますよう、教職員一同心よりお願い申し上げます。



1. 期日 平成31年2月15日（金）

2. 会場 京都教育大学附属特別支援学校

3. 主催 京都教育大学教育創生リージョナルセンター機構、京都教育大学附属特別支援学校
後援 京都府教育委員会、京都市教育委員会

4. 日程及び内容

受付	開 会 式	移 動	公開授業	移 動	研 究 報 告 ①	昼食	研究報告②	休 憩	講演会	閉 会 式	
8:45	9:15	9:30	9:45	11:15	11:30	12:00	13:00	14:30	14:45	16:15	16:30

(1)日程

(2)開会式 【9：15～9：30 体育館】

挨拶	本大学教育創生リージョナルセンター機構長 校長（本学教授）	植山 俊宏 小谷 裕実
----	----------------------------------	----------------

(3)公開授業 【9：45～11：15】

	授業クラス 主授業者	授業名	授業概要
小学部	1組（1・2年生） 平元 妙佳	こどもは かぜのこ	二人一組で滑って遊ぶ「ソリスベリ」や、みんなで一緒に滑って楽しめる「ダンボールスライダー」など、友だちや先生と一緒に遊ぶことを通して、児童が人や物事への興味・関心を高め、かわり合うことの楽しみ・喜びを感じる姿を期待する。意欲的に活動する中で学びに向かうための体力や身体作りも目指す。
	2組（3・4年生） 小湊 陽	ダンボールで あそぼう	ダンボールを素材にして家や迷路などを作る。ダンボールカッターを使って窓などの小物を「一人で作る」活動からダンボールを組み合わせて「みんなで大きなものを作る」活動に変化していくことで児童が達成感を味わいながら道具や物作りへの関心を高めることを目指す。
	3組（5・6年生） 中村 克己	作ってあそぼう とりで作り	これまでの学校生活のなかで大人が使っている道具への憧れや興味が育ってきている。道具をどのように使えば思い描いたものが作れるのかを考えながら「とりで広場」の遊具づくりを行う。5・6年生2年間で「見て学ぶ」から「道具の使い方が分かり、教える」という活動への向かい方の変化を期待している。
中学部	1組 廣内 絵美	手打ちうどんを 作ろう！	小麦粉からうどんを作る・火おこしをしてかまどでゆでる等の活動に生徒たちは興味津々。「自分たちで作ったものを食べたい」「食べさせてあげたい」という思いを意欲にして、うどんの作り方や道具の使い方を学び、より見栄え良くおいしく作る方法や協力の仕方などを試行錯誤していく姿を期待する。
	2組 佐々井 美波	畑横にかまどを 作ろう	丹精込めて育てた野菜をすぐに調理して食べられるように畑横にキッチンスペースを作る。角材や鋸などの材料や道具を使い、今までに学び身につけた力を活かして活動する。キッチンスペースで野菜を調理して食べることを楽しみにしながら、生徒同士で協働する姿や生徒主体で活動を進めていく姿を期待する。
	3組 水上 久照	卒業制作	中学部の生活の中で培ってきた道具を扱う力や協力する力などを『掃除用具小屋作り』の活動の中で発揮していくことを狙う。役割分担を行い、それぞれが担う作業を最後まで責任をもって取り組み、全員が完成を目標に活動する姿を期待する。
高等部	1組 鈴木 裕之	ほだ場の改修	ほだ場で椎茸の栽培に取り組んできた生徒たち。ほだ木を運ぶために使った階段や近くの川の土留めや杭が崩れてきている。後輩が来年度活動し易いほだ場にするために、間伐材を使い階段などの改修に取り組む。後輩のためにという気持ちをもって作業へと向かう姿を期待する。
	2組 深田 菜々子	竹炭作り	校舎の周囲の不要な竹を伐採するなどして後輩が安全で活動しやすい環境の整備を行ってきた生徒たち。伐採した竹を使い竹炭作りに取り組む。竹を鋸で水平に切る、鉈で同じ幅に割るなどの道具を扱う力、声を掛け合って分担しながら作業を進める姿を期待する。
	3組 村上 穂高	卒業制作	花壇の整備やキウイなどの果樹の手入れなど学校全体の環境整備を行ってきた3年生。キウイの棚が台風で倒れてしまったため、来年以降も後輩が収穫できるようキウイ棚の制作を行う。これまでの集大成として、助け合い、協力し合いながら作業を進める姿を期待する。

(4) 研究報告① 【11:30～12:00 体育館】

研究部から、今年度の研究概要について報告します。

研究部長 中川宣子

(5) 研究報告② 【13:00～14:30 体育館】

各学部より、今年度の学部における研究概要とその実践について報告します。

(6) 講演 【14:45～16:15 体育館】

演 題 学習指導要領の改訂を踏まえた特別支援教育の推進

講演者 中村 大介先生

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官

5. 参加費 無料

6. 参加申し込み

◎必要事項（学校名、参加者氏名、連絡先）をご記入の上、ファックスまたはメールでお申し込みください。「申込用紙」はホームページにも掲載しますのでご利用ください。
締切は、平成31年2月1日（金）です。

ファックス 075（645）1894
Eメール fujiyogo@kyokyo-u.ac.jp

◎昼食 弁当 1,000円（学校付近に適当な食堂はありません）

7. 会場案内

◎電車

- ・JR京都駅より → JR奈良線、JR藤森駅（普通のみ）下車 東へ徒歩 600m
- ・京阪本線 → 墨染駅（普通・準急のみ）下車 東へ徒歩 約1.5km
- ・近鉄京都線 → 丹波橋駅で京阪電車（出町柳・三条方面）に乗り換え、
墨染駅（普通・準急のみ）下車 東へ徒歩 約1.5km

◎タクシー

JR京都駅八条口より 約2,000円
近鉄桃山御陵前駅より 約1,000円

※本校および周辺には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。
※屋外での授業が多いので、暖かい服装でお越しください。

学校位置略図



8. 問い合わせ先

京都教育大学附属特別支援学校

〒612-0847 京都市伏見区深草大亀谷大山町90

TEL (075)641-3531 FAX (075)645-1894

URL <http://www.kyokyo-u.ac.jp/YOUGO/index.htm>

Email fujiyogo@kyokyo-u.ac.jp

教頭 北岡淳子